

## 第1回総合戦略推進会議における 平成27年度事業の検証について

先日ご報告した平成27年度事業の検証資料について、一部修正したい。

### 1. 実績値の修正について

KPIの設定の根拠が不明瞭であったことから、これを明確化しつつ、実績値を改めたい。

(1) 「考え方の整理」を行った上で修正するもの

● 「事業3-1-① うみ育てる総合窓口の設置」について

KPIの「こども・子育て相談件数」の件数のカウント方法について、目標値を設定した段階では「育児相談件数（H26年度：15件）」と「妊婦相談件数（H26年度：105件）」を合算したものを想定していた。

一方、27年度実績値として前回資料において報告した「400件」とは、下記の通り保育所入所関係・児童手当手続きに関する相談等も含まれた計数としていた。

| KPI 設定時  | 28年6月実績報告時  |
|--|---|
| <p>H26年度の<br/>妊婦相談・訪問：105人<br/>育児相談：15人<br/>をベースとしつつも、総合ケアセンターや子育て支援センター開所に応じて相談体制が充実したことに伴う各種相談が増加することが見込まれていたため、<br/>(105+15) × 5カ年 = 600<br/>これが倍程度になると見越して目標値を設定</p> | <p>H27年12月、総合ケアセンターが開所したのち、平成27年度中の相談件数の実態は次の通り。<br/>(子育て関連)<br/>・子育て相談：46件<br/>・学童保育関係：36件<br/>・母子手帳交付／妊婦相談：84件<br/>・育児相談：15件<br/><br/>(行政手続き関連)<br/>・保育所入所・利用料等の各種相談：70件<br/>・児童手当等受給・支給等の各種相談：89件<br/>・予防接種等に関する相談：60件<br/><br/>以上を合計して、400件として報告。</p> |

(結論)

第1回報告時にカウントしていた、行政手続き関連の相談は、子育てに伴うものとはいえ、直接「子育て」に関連するとは言い難いことから、報告件数を181件に改めたい。

なお、件数内訳について、「27年度取組状況」で紹介することとしたい。

| 事業番号  | KPI         | ※第1回報告時<br>実績値（H27） | ※今回修正値<br>実績値（H27） |
|-------|-------------|---------------------|--------------------|
| 3-1-① | こども・子育て相談件数 | 400件                | 181件               |

※総合戦略におけるKPI「目標値（H31）1000件（累計）」については、総合ケ

アセンターの開所後、2年程度は相談内容・傾向を把握した上で設定することが望ましいと思われるので、中間年度（平成29年度を目途）の見直しの際に改めて傾向等を分析した上で設定することとしたい。

(2) 「KPIの追加・修正」に伴う平成27年度実績値の修正について

● 「事業3-1-② 子ども・子育て支援の充実」について

KPIのうち「未就学児人口」については、平成26年度末人口を平成27年度実績として報告していたため、次の通り改めたい。

| 事業番号  | KPI    | ※第1回報告時<br>実績値（H27） | ※今回修正値<br>実績値（H27） |
|-------|--------|---------------------|--------------------|
| 3-1-② | 未就学児人口 | 517人                | 506人               |

※参考：直近3カ年度（年度ベース）の未就学児人口は次の通り。

H25年度末：551人 → H26年度末：517人 → H27年度末：506人  
（対前年度▲34人） （対前年度▲11人）

## 2. 基準値の年度ベース計数への変更等に伴う実績値の変更

KPI設定の基礎値について、暦年ベース（1～12月）の計数と年度ベース（4月～3月）の計数とが混在していた。

事業（施策）の評価を行う指標としては、年度ベースが適当であると考えられることから、基準値の変更にあわせて、平成27年度実績値も次の通り改めたい。

| 事業番号  | KPI                    | ※第1回報告時<br>実績値（H27） | ※今回修正値<br>実績値（H27） |
|-------|------------------------|---------------------|--------------------|
| 基本目標2 | 年間転出超過者数 <sup>※1</sup> | 248人                | 247人               |
| 1-2-① | 観光入込客数                 | 804,000人            | 77.5万人             |
|       | 教育旅行受入数 <sup>※2</sup>  | 3900人               | 3,958人             |
| 1-2-② | 訪日外国人旅行者受入数            | 200人                | 151人               |
| 3-1-② | 待機児童数 <sup>※3</sup>    | 0人                  | 1人                 |
| 3-1-⑤ | 出生数                    | -<br>※記載漏れ          | 69人                |

※1 年間転出超過者数は、届出ベースから発生ベースへと計測方法を変更

※2 教育旅行受入数は、実数を表示

※3 待機児童数については、前回報告時は「10月1日時点」の計数

## 3. 記載漏れのあった施策の追加

- ・事業番号3-2-②修学資金の貸付制度に記載漏れのあった、看護・介護学生等に対する修学資金の無利子貸付を追加

#### 4. 資料のフォーマット変更等について

- ・ K P I の達成状況が見えやすいように、フォーマットを修正。
- ・ K P I が「(累積)」の場合、各年度の実績値を上段、累計値を下段に記載。
- ・ 具体的取り組み毎の利用者数等の情報は、「各年度実績 (取組状況)」欄に個別に記載。
- ・ K P I を各事業別に記載の必要がないものなど、欄を一部結合。
- ・ その他、誤植修正・取組状況欄の追記等

以 上